

# スポーツカムシャフト 取扱説明書

製品番号 01-08-0175

適応車種及び	XTZ125 (JYM125-9)
フレーム番号	YB125SP (JYM125-3F)
	YX125DX (JYM125-3G)

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。  
 使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。  
 万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

## ☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

- ◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
- ◎製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
- ◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ◎この製品のカムシャフトは片側のみにベアリングが取り付けられ、シリンダーヘッド奥（クラッチ側）に取り付けられたベアリングに差込むことで使用します。カムシャフト両端にベアリングが取り付けられているカムシャフトの仕様のエンジンには取り付けが出来ません。
- ◎弊社では上記の並行輸入車両にて確認を行い、適応車両としていますが、エンジン仕様に関しては適応車両であっても全て把握し切れておらず、当製品が取り付け出来ない恐れがあります。取り付け前に必ずエンジン仕様をご確認下さい。
- ◎この製品の取り付けには上記適応車種にあった純正サービスマニュアルを必ず参照し、確実に作業を行って下さい。
- ◎取り付けの際には適切な工具等を準備し、取り付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書や純正サービスマニュアルは基本的な技術や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は技術的信用のある専門店へご依頼される事をお勧め致します。
- ◎エンジン仕様により別途必要部品が異なります。この取り扱い説明書や純正サービスマニュアルの内容を事前に熟読の上、ご用意下さい。
- ◎この製品はカムシャフトのみの商品内容です。取り付けの際に必要なカムチェーンテンショナーガスケット（弊社品番：00-01-0068）は含まれておりませんので別途お買い求め下さい。
- ◎また、クランクシャフトエンドアクセシングスクリューが備わっていない車両は左クランクケースカバーを取り外しての作業をお勧めしますが、この作業の際には左クランクケースカバーガスケット（純正品番：5VL-E5451-10 もしくは 5HP-15451-00）が別途必要となります。
- ◎ボルト、パッキン類は再使用しますが、摩耗や損傷の激しい物は再使用せず、必ず新品の物をご使用下さい。

**注意** この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

- 作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行ってください。（火傷の原因となります。）
- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
- 規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。（ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。）
- 製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。（ケガの原因となります。）
- 走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。（部品の脱落の原因となります。）
- ボルト・パッキン類で再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は必ず新品部品と交換して下さい。

**警告** この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- エンジンを始動させての点検は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）
- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
- 点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
- 点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。（そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。）
- ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が周りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通風の良い場所で作業を行って下さい。

- ◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
- ◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。  
 但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。  
 なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。
- ◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいませお願い致します。

## 製品内容



部 品 名	個 数
カムシャフト COMP.	1

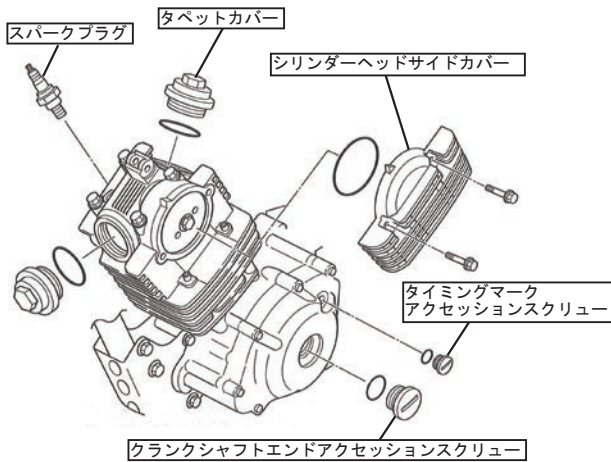
株式会社 スペシャルパーツ 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16  
 TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>  
 お問い合わせ専用ダイヤル：0721-25-8857

※水平で安全な場所で、車両を必ずメンテナンススタンド等を用いて水平に安定させてから、作業を行って下さい。

## ●カムプロケットの取り外し

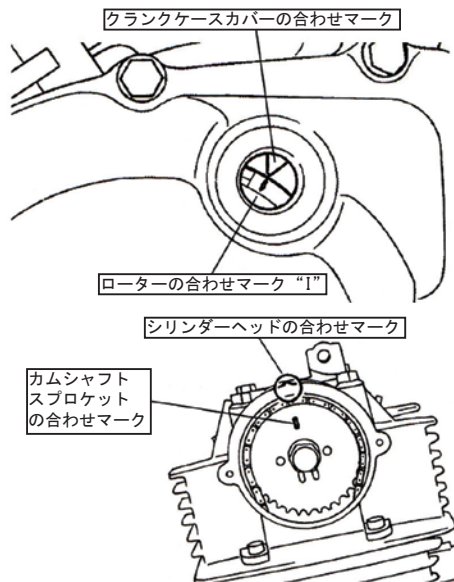
1. シートとフューエルタンクを取り外します。
2. シリンダーヘッドサイドカバー、タペットカバー、スパークプラグ、クランクシャフトエンドアクセススクリュー（ある場合）、タイミングマークアクセススクリューを取り外します。



3. クランクシャフトを反時計方向に回し、ローターの合わせマーク“1”とクランクケースカバーの合わせマークを一致させ、圧縮上死点の位置にします。

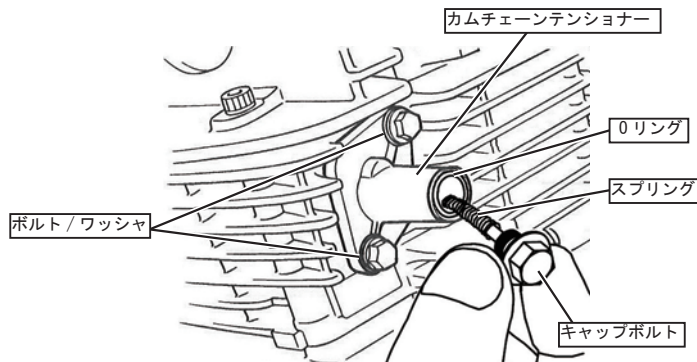
※クランクシャフトエンドアクセススクリューが備わっていない車両は、キックスターを操作する、またはリアタイヤを回してクランクシャフトを回します。

この時、カムプロケットの合わせマークがシリンダーヘッドの合わせマークに揃っている事を確認します。



4. クランクシャフトを固定して、カムプロケットボルトを緩めます。  
※クランクシャフトアクセススクリューが備わっていない車両は、左クランクケースカバーを取り外して、フライホイールを固定します。ただし、この製品には左クランクケースカバーガスケットは付属しておりませんので別途用意下さい。

5. カムチェーンテンショナーのキャップボルトを取り外し、スプリングとOリングを取り外します。ボルト/ワッシャ2本を取り外し、カムチェーンテンショナーをシリンダーから取り外します。



6. カムプロケットボルトを取り外し、カムチェーンからカムプロケットを取り外します。  
この時、タイミングチェーンがクランクケース内に脱落しないように、針金等で結んでおきます。

## ●カムシャフトの取り外し

1. ロッカーアームのアジャスティングスクリューを緩めておきます。
2. スクリューを1本取り外し、カムシャフトベアリングホルダーを取り外します。
3. カムプロケットボルトを利用して、カムシャフトを取り外します。

## ●カムシャフトの取り付け

1. キットのカムシャフトのベアリングとカム面にエンジンオイルを塗り、シリンダーヘッドに取り付けます。
2. カムシャフトベアリングホルダーを取り付け、スクリューを締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
スクリュー  
トルク：10N・m (1.0kgf・m)

## ●カムプロケットの取り付け

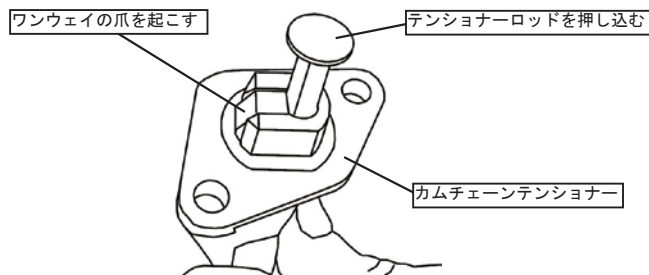
1. カムシャフトを圧縮上死点の位置にし、カムプロケットの合わせマークがシリンダーヘッドの合わせマークに合うように、カムプロケットにカムチェーンを掛け、カムシャフトに差し込みます。

この時、エキゾースト側のチェーンが張るように組み付けます。  
※クランクシャフトが圧縮上死点になっている事と、カムプロケットとシリンダーヘッドのマークが合っていることを必ず確認して下さい。

※左クランクケースカバーを取り外しての作業を行っている場合に、タイミングを確認する際は、一旦左クランクケースカバーを仮組み付けして下さい。

※カムチェーンがクランクケース側で外れたりしてカムプロケットの取り付けが出来なくなった場合は、純正サービスマニュアルに従い、作業を行って下さい。

2. ワッシャとカムプロケットボルトを仮組み付けます。
3. カムチェーンテンショナーのワンウェイの爪を起こし、テンショナーロッドを押し込んでおきます。



■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

4. 新品のガスケットとカムチェーンテンショナーをボルト / ワッシャ 2 本でシリンダーに取り付けます。

※この製品にはカムチェーンテンショナーガスケットは付属しておりませんので別途用意して下さい。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
テンショナー取り付けボルト  
トルク：9N・m (0.9kgf・m)

5. カムチェーンテンショナーに O リング、スプリング、キャップボルトを取り付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
キャップボルト  
トルク：8N・m (0.8kgf・m)

6. クランクシャフトを反時計方向に回し、ローターの合わせマーク“1”とクランクケースカバーの合わせマークを一致させ、圧縮上死点にした時、カムスプロケットの合わせマークとシリンダーヘッドの合わせマークが一致しているか確認します。

一致していない場合は、カムスプロケットの再組み付けを行います。

7. クランクシャフトを固定して、カムスプロケットボルトを締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
カムスプロケットボルト  
トルク：20N・m (2.0kgf・m)

※左クランクケースカバーを取り外して作業を行った際は、新品の左クランクケースカバーガスケットと共に取り付け、カバー取り付けボルトを対角に数回に分けて締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
カバー取り付けボルト  
トルク：10N・m (1.0kgf・m)

## ●バルブクリアランスの調整

- クランクシャフトを反時計方向に回し、カムスプロケットの合わせマークとシリンダーヘッドの合わせマークを一致させ、圧縮上死点にします。
- シクネスゲージをアジャスティングスクリューとバルブステムの間に差し込み、バルブクリアランスの調整を行います。

◎標準バルブクリアランス（冷間時）

インテークバルブ 0.08 ~ 0.12mm

エキゾーストバルブ 0.10 ~ 0.14mm

- アジャスティングスクリューを保持し、ロックナットを締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
ロックナット  
トルク：8N・m (0.8kgf・m)

- クランクシャフトエンドアクセッシングスクリュー（ある場合）とタイミングマークアクセッシングスクリューを取り付けます。（O リングには、オイルまたはグリースを塗布してから締め付けて下さい。）

▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
スクリュー（両方共）  
トルク：7N・m (0.7kgf・m)

5. タペットカバー、シリンダーヘッドサイドカバー、スパークプラグを取り付けます。

（O リングには、オイルまたはグリースを塗布してから締め付けて下さい。）

▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
タペットカバー  
トルク：18N・m (1.8kgf・m)  
シリンダーヘッドサイドカバーボルト  
トルク：10N・m (1.0kgf・m)  
スパークプラグ  
トルク：13N・m (1.3kgf・m)

